

遺伝子は、スイッチが入るのを待っている。

井上和雄ドキュメント

SWITCH

【スイッチ】

遺伝子が目覚める瞬間

内藤いづみのホスピス学校プレイベント

【日 時】2011年 6月 12日 (日)

【会 場】清泉寮本館 北杜市高根町清里 3545 TEL.0551-48-2111

1 限目 16:00~17:20 「SWITCH (スイッチ)」 上映

2 限目 17:30~18:20

いづみ校長のおはなし “いのちのあいいうえ ON”

放課後 18:30~

【入場料】1,000 円 (高校生以下無料)

【定 員】200 名 ※保育あり 事務局山下まで要予約 TEL.080-2129-8068

主催/内藤いづみのホスピス学校 後援/清泉寮、北杜市教育委員会、日本ホスピス在宅
ケア研究会山梨支部 応援委員/シネやまなし、草五庵、タイムたいむクラブ、チーム清里、
花みずきの会、萌木の村
チケット取扱い/(北杜) 萌木の村 ROCK、花みずき、草五庵、道の駅こぶちさわビーンズ
(甲府) ふじ内科クリニック

お問い合わせ/花みずき

(小須田) 0551-48-2458

ホスピス学校事務局 (山 下) 080-2129-8068

収益の一部をチーム清里を通じ、東日本大震災の救済支援金とさせていただきます。

村上和雄ドキュメント「SWITCH」遺伝子が目覚める瞬間

人間の無限の可能性を追い続ける科学者、村上和雄博士の研究の軌跡と、遺伝子のスイッチがオンになった人々の生き様を追った感動のドキュメンタリー。

■ストーリー

「人間の可能性は無限である」

人間の遺伝子には、1000文字×1000ページの百科事典約3200冊分の情報が入っていると言われています。しかし、私たちは生涯、その数パーセントしか使っていないことが様々な研究の結果により明らかになりました。バイオテクノロジーの世界的権威・村上和雄博士は言います。「眠っている遺伝子のスイッチをオンにすれば、人間の可能性は無限大だ」と。では、私たちの遺伝子は、いかにしてオンになるのか。村上博士の研究の軌跡と、苦難の中で花開いた人間の可能性を追ったドキュメンタリーです。



筑波大学名誉教授 村上和雄

「生かされていることを知るとき、私たちの遺伝子はオンになる」

2005年に起きたJR福知山線の列車事故は、多くの犠牲者を出し、事故から5年以上が経った今も、当事者のみならず、たくさんの人の心に傷を残しています。そんな中で、人々に勇気を与えている女性がいます。最も被害のひどかったと言われる2両目に乗っていた鈴木順子さんです。順子さんはこの事故で、脳に重度の障害を受けました。しかし、彼女は、母・もも子さんをはじめとする家族の愛の中で、驚くべき回復を遂げます。愛と笑いが遺伝子をオンにした奇跡の物語です。



鈴木ももこ+順子 親子

「スイッチをオンにして、自分のミッションを生きる」

子どもの重度のアトピーとの長い闘いに疲れ切り、さらに夫の会社が倒産。そして自身は流産してしまう……。そんな人生のどん底とも思える状況の中で、自分のミッションを知った1人の女性がいます。映画『1/4の奇跡』の監督、入江富美子さんです。ごく普通の主婦だった彼女に、一体何が起こったのでしょうか。「宇宙に感謝の量を増やす映画をつくる」というミッションを果たすべく、東奔西走する彼女のエネルギーの秘密に迫ります。



映画監督 入江富美子

村上和雄 鈴木もも子 鈴木順子 入江富美子

音楽：佃 良次郎 / 語り：堤 江実 / 撮影・編集：谷 忠彦 / 企画・構成・監督：鈴木七沖
編集・制作：岡田寛子 / 制作：新井一哉、荒木 幸、サンマーク出版TB編集部 / 配給：株式会社サンマーク出版
制作総指揮：植木宣隆

SWITCH公式サイト <http://www.sunmark.co.jp/switch/>